



入学おめでとうございます 能津小学校入学式

ひだか HIDAKA GIKAI DAYORI 議会だより

第198号

令和7年4月30日

特集 新成人へアンケート調査.....16P~17P

特集 ご入学おめでとうございます.....18P~19P

行政報告(要旨)



松岡一宏 村長

「日高クリニック」への運営支援

一昨年より、医療法人仁生会と協議を進めてきた。村民の健康維持等には、なくてはならない施設であると判断し、新たな支援制度を創設し、施設運営支援をしていく。

また、村民の皆さんに可能な限り「日高クリニック」をご利用いただき、継続的な運営にご協力をいただければと考えている。

災害用備蓄物資の保管協定締結

2月26日、株式会社エスエスと四国トランスポート株式会社との災害用備蓄物資の保管に関する協定締結を行った。



災害用備蓄物資の保管協定締結式

村内の防災対策を強化するため備蓄品の分散備蓄を行い、災害時に必要な物資を確実に供給できるよう、企業と協力して取り組むことを目的としている。

平時に四国トランスポートの倉庫の一角(2パレット分)を借り、災害時は簡易トイレ用木質凝固剤「フォレットタブル」の備蓄を行う。

また、災害時に、プッシュ型での物資搬送が始まった際には、倉庫の一角を借り、エスエス、四国トランスポートの倉庫にある製品を村の求めに応じて供給する。

日下川流域水害

対策協議会を設置

12月3日に日下川流域が、特定都市河川浸水被害対策法に基づき、「特定都市河川」及び「特定都市河川流域」に指定された。

12月25日には、日下川流域水害対策協議会を立ち上げ、日下川流域水害対策計画の策定に取りかかった。

流域治水まちづくり計画の策定

計画の策定

令和7年7月1日から、日下川流域内で1千㎡以上の雨水浸透阻害行為を行う際、流出抑制のための許可が必要になる。許可にあたっては雨水を貯留・浸透させる対策が必要となる。

規制を強化することで、村全体のまちづくりへの影

響が懸念されるため、新たに具体的な土地利用の方針を明確化し「流域治水まちづくり計画」の策定に取りかかり、新しい時代に応じた日高村の創出を考えている。

国等へ要望活動

1月から2月に、令和7年度の予算配分に向け、財務省や国土交通省、高知県関係の国会議員に対し、治水、道路共に要望を行った。

要望活動では、既設構造物の機能強化等を推進し、防災・減災、国土強靱化の取り組みを継続的・安定的に進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定、また必要な予算・財源を別枠で確保することについて、要望した。

村営改良住宅 建替事業契約締結

日高村営改良住宅建替事業は、12月24日に「株式会社ひだかコミュニティ住宅」と事業契約を締結した。

西ノ越団地、西田第一団地A・B、西田第二団地A・B、西田第三団地の方々に説明会を実施した。

移転までのスケジュールや新しい住居先の決定方法や引っ越し移転の手続きなどの説明を行った。

高知県人口減少対策 総合交付金

高知県人口減少対策総合交付金「連携加算型交付金」

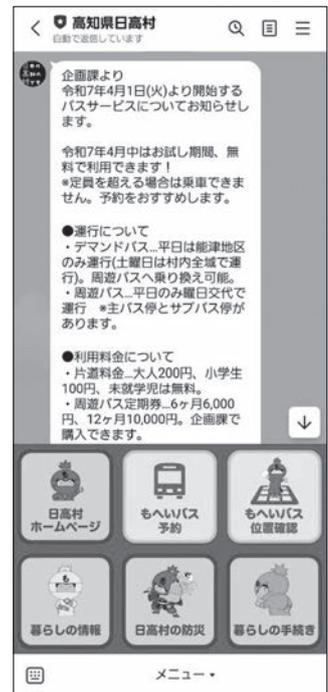
の事業内容は、
1. 集合住宅を建築する事業者に対しての補助金創設。

2. 移住促進事業とし、新たに住宅を新築する若者世代への応援金給付、村内企業に従事する外国人の家族の渡航にかかる費用の支援事業、村内住者への奨学金返済支援事業。



村営改良住宅建て替えについて説明会を開催

3. 高知県マッチングサイト等への登録料や活動費の助成。
4. 都会から移住する若者新婚夫婦への生活支援に係る所得要件の緩和。
この連携加算型交付金の上限が5千万円、今回の交付金活用予定額が3千万円余りとなっている。今後も、多くの意見等も伺い、計画の追加及び変更を予定している。



スマホで予約や運行場所が確認できる周遊バス



新しい地域交通

地域交通支援事業は、周遊バスとデマンドバスを合わせた「新しい地域交通」をコンセプトに、4月から本格運行をする。

買い物支援として、近隣のスーパーへの送迎や、病院に受診される方に対して、利用しやすい時間帯などを設定した。
運行形態は、常に停車す

教育委員会表彰

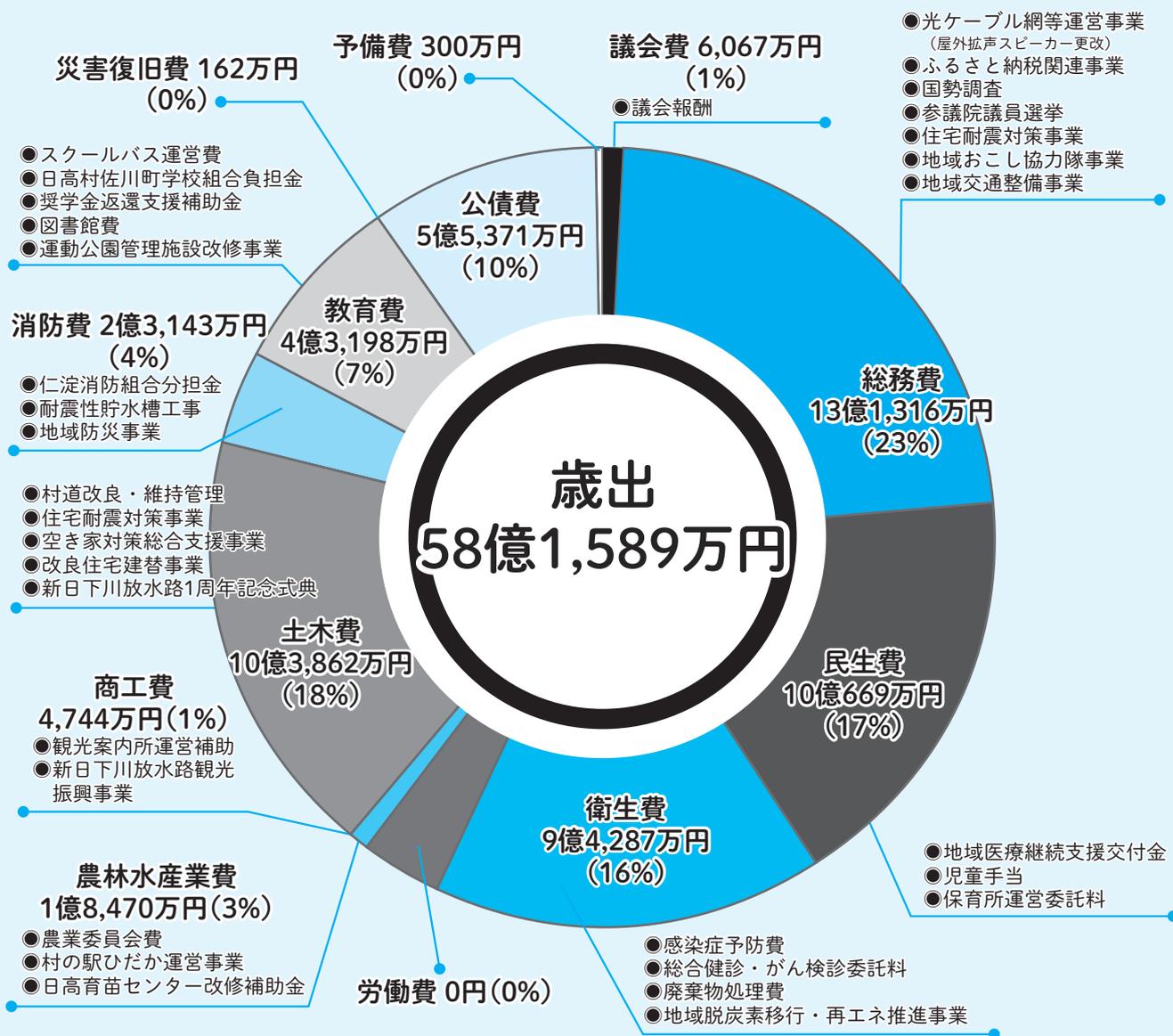
るバス停と、事前予約で集会所などに停車するバス停を併用した。その予約やバスの運行場所もスマホ等で確認できる新しい取り組みで、村民のニーズに合ったものとなるよう努めていきたい。
能津地区は、現在のデマンド運行を継続し、令和7年度、新しい車両を購入する予定である

2月15日、役場3階大会議室において、教育委員会表彰式が行われ、生徒6人が人権作文や図画及び硬筆、また陸上競技100mやカー競技において、功績が讃えられ表彰された。

また、文化・自然に関する自由研究について応募作品の中から1人の児童に教育長賞、優秀賞に3人が選ばれ表彰された。

トータル (一般会計 特別会計 公営企業会計) 可決

令和7年度一般会計予算



令和7年度各会計予算

公営企業会計

- 簡易水道事業 ※2億6,932万円
- ※収益的支出額と資本的支出額を計上

特別会計

- 国民健康保険 6億4,387万円
- 介護保険 7億2,169万円
- 後期高齢者医療 1億1,333万円

日高村75億円です

令和7年度 注目する事業

人口減少対策事業

1,000万円

- アパートなど集合住宅の建設に対する補助金
- 若者・子育て世帯が新たに村内で住宅を取得する応援金
- マッチングアプリの入会・登録料に助成
- 結婚新生活支援事業

改良住宅建替事業

4億7,297万円

- 西ノ越地区の住宅建設費
- 西田地区の住宅設計費

地域交通整備事業

3,369万円

- 周遊バスとデマンドバス合わせた地域公共交通
- 主バス停(予約なし)サブバス停(事前予約)を整備し、スマホから予約やバスの走行位置を確認できる

地域脱炭素移行・再エネ推進事業

5億7,117万円

- トマト団地への蓄電池施設整備
- トマトハウスへのヒートポンプの導入等

補聴器購入助成金

30万円

- 65歳以上の人に補聴器購入費用を助成(上限額3万円)

奨学金返還支援補助金

240万円

- 村内に5年以上定住する若者に対して、奨学金の返済金の一部を補助
最大年12万円を3年間補助

若者健診

68万円

- 20歳から39歳までの国保の被保険者に対して、健診を無料で実施

令和6年度繰越明許事業

日下小学校の大規模改修 1億5,408万円

LED化工事(校舎・体育館)・玄関工事・下駄箱取り替え・トイレ改修等・網戸の交換
ステンドグラス保護工事等

◎令和7年度日高村一般会計予算

質疑

問 マウンテンバイク体験イベント開催委託料の説明を。

答 「れんげいこうち」へ提案予定で、子どもたちが電気自転車マウンテンバイクを体験するイベントを、計画している。

問 集会所施設整備事業費補助金814万4千円は、どここの集会所への補助か。

答 父原自治会、鍛冶屋自治会への補助を予定している。

問 地域おこし協力隊は、何人か。また新しく予定しているか。

答 令和7年度、継続は7人予定し、新規は4人を想定している。

問 結婚活動支援事業で、茂平マラソンとの関連は。

答 茂平リレーマラソンへマッチングを目的として参加をする費用を支援する。

問 奨学金返還支援事業の対象者は。

答 日高村に住所があり、4月1日時点で奨学金を返還している方で、前年に返還をした奨学金の2分の1以内の額、年間1人12万円を上限に3年間を限度として返還金の支援を行う。

問 すべての奨学金を対象にするのか。

答 日高村の奨学金、貸付金、独立行政法人等を考えている。

問 日高クリニックへのアクセスの悪さ、また病院の駐車場も狭いという意見もある。これに対し、どのように取り組んでいくか。

答 アクセスについては道路改良工事で改善を図っていく。令和7年度から測量設計を行う予定である。

問 長期債償還金5億3千万円、この金額が続くことになるか。今後の見通しは。

答 アクセスについては道路改良工事で改善を図っていく。令和7年度から測量設計を行う予定である。

答 公債費のピークは令和9年度を見込んでいます。令和10年度、11年度あたりから下降し始める見込みを立てている。

問 屋外拡声スピーカー更改委託料は何台分か。

答 聞こえづらいスピーカーを遠くまで音声飛ばすスピーカー等を新設する。18カ所の計画でスピーカーを設置する。

問 外国語指導助手等配置事業の内容は。合わせて人数は。

答 1人の会計年度任用職員で、村立小中学校と、加茂小中学校の授業補助で、子どもたちに英語を教えていく。



道路改良工事で改善を図る日高クリニックへのアクセス

第1回臨時会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案・発議案		議員名										議決結果
令和6年度予算	一般会計	西村玲子	大川内慎治	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	野村重夫	森下雅文	尾崎政廣	池田雄	議長
		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	可決

1月15日、第1回臨時会が開催され、議案1件が可決された。



閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 大川内慎治

2月25日（火）午前10時より

日下小学校大規模改修事業について、担当課から説明を受けた。

令和7年度と令和8年度の2年間で、総事業費約2億8千万円を予定している。

令和7年度は、校舎LED化工事・玄関熱線反射ガラス工事・下駄箱取替工事・体育館LED化工事・トイレ改修工事・網戸の交換・ステンドグラス保護工事などを計画している。



改修するトイレと下駄箱（日下小）

令和9年度は、校舎屋根の鉄板張り・外壁塗装・電気分電盤・貯水槽などの工事を予定している。

校舎や体育館の断熱化については別事業となり、国や県の動向も注視し慎重に検討する必要がある。

経済建設厚生 常任委員会



委員長 藤原利彦

2月26日（水）午後3時より

山崎総務課長兼産業環境課参事 農業物価高騰対策支援事業については、2月1日から申請受け付けを開始、5月31日まで受け付ける。対



就農体験を発表する國森氏（写真上）
就農相談会に日高村が参加（写真下）

象は村内に住所を有する者、または法人で、6万円以上購入した個人6万円、60万円以上購入した法人に30万円補助する。
住宅用太陽光発電設備等導入補助金では、個人が住宅に太陽光パネル及び蓄電池の両方導入する場合、上限60万円、また蓄電池のみを導入する場合は上限40万円の補助をする。
イオンモール高知において就農相談会に参加した。県内から13市町村と3団体の参加があった。

日高村治水対策
特別委員会



委員長 大川内慎治

2月25日(火)午後3時よ
り

令和7年度から取り組む「村の治水史の作成方針」について、担当課から説明を受けた。

村の災害史・対策工事・歴史などの資料や聞き取り調査等により、令和7年度から3カ年での作成を考慮しており、A4判200ページ、カラーで写真や絵を主体とした読みやすい治水史となるよう取り組む。

令和7年度は、概要調査(資料収集・整理)、目次案、構成案作成、編集委員会2回を予定。令和8年度は、追加調査、原稿執筆、年表作成、編集委員会2回を予定。

令和9年度は、デザイン、印刷、デジタル版作成。3年間で約600万円の予算を見込んでいる。

最後に、インフラツーリズム用の動画を視聴した。村の治水史について短く分かりやすくまとめられ、素晴らしい仕上がりであった。ぜひ村民の皆さんにも視聴していただきたい。



新日下川放水路の完成から1年、治水史の製作を始める



新日下川放水路解説動画の視聴はこちらから

日高村少子化対策
特別委員会



委員長 森下雅文

12月18日(水)午前10時よ
り

村内保育園児の保護者の子育てアンケートへの回答と意見について、産業環境・建設・健康福祉・企画の各課が、どのような施策を行っているかなどについて、各課長から報告と説明を受け、質疑を行った。

1月23日(木)午前10時よ
り

子育てアンケートへの回答と意見について、教育次長から前回同様に報告と説明を受け、質疑を行った。企画課長から、県による人口減少対策総合交付金の

基本配分型と連携加算型の各事業について、報告と説明を受け、質疑を行った。

2月19日(水)午前10時よ
り

子育てアンケートへの回答と意見に対する各担当課の対応について、検討した。

その結果、新年度予算の成立を待って、これまでの経過と課題への村の取り組みについて、意見を出し合った。

転入者のための住宅確保の取り組みに関する意見が多く出された。

一般質問に6氏が立つ



西村玲子議員

災害対策について

質問 プールや川、池、用水路、雨水タンク等の水を浄水し「生活用水」に特化した浄化装置の導入を。

答弁 谷脇総務課参事

内閣府発行の国土強靭化民間取組事例集に掲載されており、どのように使用できるのか、他にどのようなものがあるか研究をする。

質問 住民から「避難所では洗濯はできても干したくない」との声が多くあり、少しでもストレスのない安心・安全の避難生活を送るため、各避難所に洗濯乾燥機の設置を。

答弁 谷脇総務課参事 他にも必要な物資等があり、優先順位もあるもので、今後研究していく。

質問 防災訓練時に、持ち出し袋の中身の展示と購入について。

答弁 谷脇総務課参事

各地域での防災学習訓練、村の総合訓練のとき、展示できるように計画をする。 中身は県作成の冊子で機会を見つけ啓発をし、販売はイベントのとき、紹介できるように検討する。

質問 災害で心に傷を負った子どもたちにキッズスペースの設置を。

答弁 谷脇総務課参事

昨年12月、内閣府が改訂した避難所における良好な生活環境の確保に向けた取り組みの中に、キッズスペース、学習のためのスペースの確保がある。生活環境の改善を考慮し取り組む。運営は住民の方々となるため訓練の際、お知らせをしていく。

高齢者対策について

質問 病気やけがなどで意思表示ができなくなった時に終末期等、本人の希望を実現する目的として緊急連絡先、エンディング

書、遺言等の作成を支援する。個別にエンディングノートの紹介等支援をしていく。他市の取り組みを参考に、村の実情に応じた方法を研究する。

来庁者への案内について

質問 住民から「庁舎にはあまり行く機会がなく、

大切な人とやっておきたい人生会議

グノートの保管場所、医療機関などを登録する「終活情報」の事前登録制度はできないか。

どこに行っているのか、誰に声を掛けていいのか、困る」との声がある。近くの方が挨拶とともに要件を聞き、2階であれば同行するか、電話で連絡を。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事

新庁舎となり、近年役場職員の世代交代等もある。接遇に係る職員の意識の向上については、常に新たな意識と認識をもって、地域住民の皆さんが利用しやすい役場となるよう、全職員、職務励行に努める。

国道改良等について



森下雅文議員

日下駅前歩道の進捗は

質問 地権者の理解は得られたと思うが、工事完成までの日程はどうか。
駅入り口の県道拡幅の見通しはどうか。

信号機設置の見通しは。

答弁 西村建設課長

地権者への個別説明が終わり、来年度から用地測量に入ると聞いている。県は県道改良の必要なしの判断だが、改良の必要性を働きかけたい。信号機は公安委員会の判断だが、設置の必要性を働きかけていきたい。

折月坂カーブの改良を

質問 折月坂は見通しが悪く、村内の国道で複数回の死亡事故が発生している。

答弁 松岡村長

村としての大きな課題であり、国・県にも要望

る。改良が望まれるが、国交省に要望は挙げられているか。改良の見通しはどうか。

答弁 西村建設課長

折月坂は事故が多く、改良の必要性は十分感じているが、国の交通安全対策事業は基本的に自治体に1カ所であり、まずは日下駅前・岩目地の事業を推進したい。折月坂は時期をみて要望していきたい。

能津トンネルの見通しは

質問 防災上からも歴史的経緯からも、能津トンネルの開通が望まれてきた。いの町との連携もいわれてきたが、見通しはどうか。

答弁 西村建設課長

能津トンネルは合併当時から課題であり、高知西バイパスの越知間の都市計画案が示された段階で、いの町と共に活動したい。

してきた。近隣市町村に協力をお願いしており、都市計画案決定後の活動を考えている。

土佐市へのトンネルを

質問 日高村から土佐市へトンネルを開通させれば、防災や交流人口の面から、大きな効果が見込めるが。

答弁 西村建設課長

高知西バイパスの越知間の事業化や能津トンネル等、大きな課題が山積しており、現時点ではそれらに注力していきたい。

学校体育館に空調を

質問 文科省は空調整備を促す臨時特例交付金を新設した。体育館は子どもたちの教育の場・災害時の避難所として重要な役割を担う。設置を検討してはどうか。

答弁 谷脇総務課参事

設置について、国の要件をみて検討したい。

答弁 松岡村長

前向きに検討すべきことと思う。財政面等調整して、考えていきたい。



避難所の役割を担う学校体育館に空調整備を(日下小学校)

望ヶ丘入り口 国道部分



藤原利彦議員

質問 望ヶ丘入り口、国道部分に沈下があり、段差の補修が何回か行われてきたが、国道事務所に根本的な補修を頼めないか。



国道33号望ヶ丘入り口付近

答弁 西村建設課長

現地の状況も確認した。今までも国道を管理する佐川国道維持出張所へも入り口の舗装、補修については相談してきた。まだいい回答はないが、今一度相談していく。

高知県消防広域化

質問 東西に広い本県での消防広域化については、丁寧な議論が必要ではないか。

答弁 谷脇総務課参事

今後、人口減のため、各分署が統廃合せざるを得ない状況が生じた場合でも、各町村に必ず1分署は存続するよう切に要望する。

答弁 松岡村長

消防救急業務は地域にとって、なくてはならないものではあると考えている。しっかりとした検討を重ねた上で結論を出していく必要がある。

農業経営基盤 強化促進法の改正

質問 現在、契約書なしに農地の貸し借りしている人はどうなるのか。

また、遊休農地化が進むのではないか。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事

農用地利用集積計画による相対契約、利用権設定が廃止となり、機構を経由した農地中間管理事業での取り扱いとなる。

農地の所有者と利用者双方に制度を十分に説明した上で、個々の状況を考慮し、臨機応変に機構事業と農地法3条申請を使い分けることにより、制度の改正が遊休農地の増加につながらないよう努め取り組んでいく。



広域化が検討されている仁淀消防組合日高分署

沖名残土処理場の 経済効果と活用策を明確に



大川内慎治議員

質問 こうち・ひだかメガソーラー株式会社による村への経済効果は。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事
発電開始より10年間で、固定資産税2千261万2千円、土地使用料1千997万927円、配当金2千997万927円、法人住民税650万7千円となっている。

質問 これらの利益を地域に還流させる事業としての成果は。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事
沖名調整池隣接の公園整備をはじめ、沖名地域はもとより戸梶川・日下川流域に暮らす村民や来

訪される方々が「憩い、集える」施設づくり事業等に活用している。

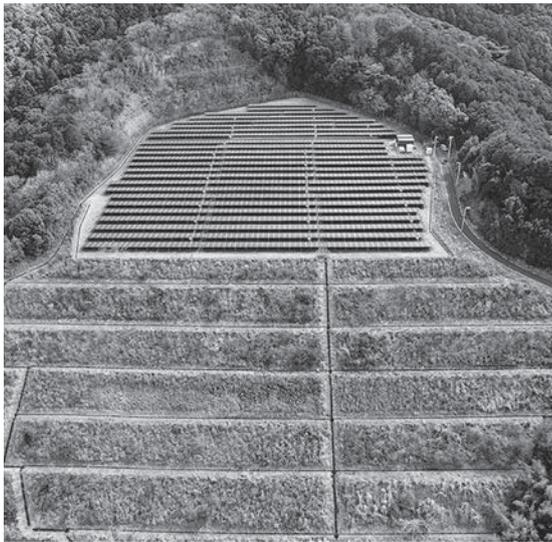
質問 こうち・ひだかメガソーラー株式会社からの配当金を積み立てた環境基金の今後の活用方針は。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事
令和7年2月末の基金残高は4千221万4千円である。地域への利益還流

を念頭に、地域の環境事業等の原資として活用する。

質問 残土処分料収入を積み立てた「ふるさとづくり基金（地域活性化）」の今後の活用方針は。

答弁 山崎総務課長兼産業環境課参事
令和7年3月末の基金残高見込額は3千508万9千円であり、基金造成に至った経緯等を踏まえ、沖名（田福）地区に整備する「日高村水害に強いまちづくり公園」事業の原資としての活用を考えている。



大きな経済効果をもたらしている「こうち・ひだかメガソーラー株式会社」の太陽光発電施設



田福地区の「水害に強いまちづくり公園」整備予定地

避難所への災害用井戸設置の計画について

質問 指定避難所における災害用井戸の設置可能箇所と今後の計画は。

答弁 谷協総務課参事
避難所敷地内で井戸設置が可能箇所は、社会福祉センター、日高中学校、下分ふれあいプラザ、岩目地ふれあいプラザの4カ所であり、財政状況を見ながら計画的な設置を検討する。

スマートフォン普及率100%の取り組み

質問 サンシャイン日高店に併設されていたATMが撤去された。村民の利便性向上のため、村でできる取り組みを考えるべきではないか。

答弁 前田企画課長
村民のスマートフォン実質普及率は92・7%であり、これからはスマートフォンを「使う・活用する」ステージに入っている。活用次第で時間や場所を問わず、金融サービスを受けることも可能であり、新しい選択肢としての取り組みを進める。

4月からの買い物支援バス運行について



山中鶴幸議員

質問 4月から利用しやすい新しい運行が始まるか。

答弁 前田企画課長
日下地域は、4月からの運行を進めている。能津地区は、現在の運行を継続し、新車両を購

入する。納車までは、村の公用車を代用する。

質問 高知西バイパスへ入らず左折し国道33号を通り、いの町内を走ってほしいと声があるが。

答弁 前田企画課長
3ルートを考えている。加茂地区から、いの町に行く便。

沖名地区を周回し、村道日下駅前江尻線を経由して、いの町に行く便。役場を出発し佐川町に行く便。それぞれの主なバス停に必ず止まる。

いの町に向かう便は、バイパスを通らず、旧の土電バス車庫前を左折し、いの町内を通り病院、スーパーなどに止まる。

人口減少対策総合交付金「連携加算型交付金」について

質問 取り組みの1つに、村内で就業する外国人の家族に対する渡航費用の支援とは、村内で就業する外国人の方が村内で永住権・帰化した後、ご家族が日本で帰化するため

の渡航費ということか。

答弁 松岡村長
帰化することを条件にしていない。
家族を呼び寄せ一緒に日高村で生活をし、働く支援の取り組みをする。

水道給水タンクの常備を

質問 災害時の断水発生時緊急対応に、給水タンクの常備が重要と考えるが。

答弁 西村建設課長
給水タンクは、容量1tが1基ある。常備は、検討課題としている。

質問 災害等で配水管等が破損した場合、復旧工事を迅速に図るための管網図作成は。

答弁 西村建設課長
配水管の管網図は作成している。現在は紙ベースとパソコンでもデータ化している。

村道長畑鴨地線の早期改良を

質問 開道の碑より上流の

谷口地域まで道路幅員が狭く、特に幅員2m程度の2tトラックは道路幅員いっぱいとなる箇所が120mほどあり、災害発生時を危惧し、地域が懇願する改良整備を。

答弁 西村建設課長
村道江尻妹背峠線の道路改良工事に備え、令和3年度で一時中断する計画となっている。村道江尻妹背峠線の道路改良完成までは、新規事業などは一時凍結の状況にある。事業凍結の解除まで

は、路面清掃や修繕などで対応する。

よさこい高知文化祭2026について

質問 来年10月25日から12月6日まで43日間、国内最大級の文化の祭典「よさこい高知文化祭2026」に当村から発表団体の予定は。

答弁 中嶋教育長
県から詳細はきていないが、現在村内で取り組んでいる団体には声をかけたい。



早期の改良整備を待つ、村道長畑鴨地線

スーパー 再開の見込みは



森下芳文議員

質問 スーパー再開の見込みを聞く。

答弁 松岡村長

同業他社も訪問し、村内起業について話をさせていたいただいた。その上で敷地の条件として、店舗及び100台程度の駐車場を含む約3千㎡土地があればとのことであった。条件を満たす村所有の土地はなく、厳しい状況であるが、可能性は積極的に探っていききたい。

全国大会の持ち方

質問 国体と言われたのを見直す動きがあるが、学校体育依存から社会体育（クラブ型スポーツ）の移行を進めるには、受け皿を作った上で進めるのが手順と思うが、見解を聞く。

答弁 中嶋教育長

基本的に全国大会の運営にかかわるのは教職員が担っているという現状がある。全国大会は競技団体に任す方向に流れている。制度だけ先走っている状況がある。子どもたちがやりたいことに取り組める状況は作っていききたい。

国道33号の 液状化対策は

質問 国道33号はかなりの部分が盛り土である。盛り土の場合は液状化が避けられない。事前復興の発想が必要ではないか。

答弁 松岡村長

国道33号については、液状化のこともあるので、バイパスの早期事業



唯一の診療機関である日高クリニックを守っていく

化に向けて国に要望をしている。今、県は3日以内に主要道路は啓開する予定にもなっている。

日高クリニック 支援は当然

質問 唯一の診療機関として守っていくことは、村民にとって大切なこと。1つ考えてほしいこと

は、国保運営協議会への医師の参加を実現してほしい。答弁 松岡村長 今後も、仁生会と打ち合わせもあるので要望していく。

水道水の安全性

質問 基準値内であった検査の結果が答弁されたので、定期的に行っているかを問う。

答弁 西村建設課長

年1回定期的に行っている。

高額医療費

質問 高額医療費について、若干動きが出ているが、以前からいわれているように、金の切れ目が命の切れ目だという現実がさし迫り、がん患者の悲痛な叫びが届けられている。村長の考えを聞く。

答弁 松岡村長

首相や国の動向を見守っていく。

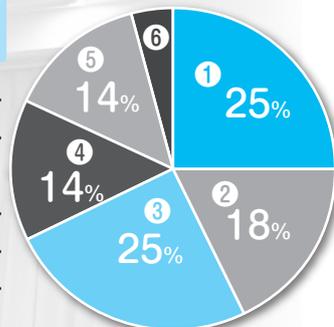
二十歳の集いにおいて

アンケートを実施

Q1

将来、日高村に住んでいたい？

- ① ずっと住んでいたい 7人
- ② 若いときは村外に住んで、子育てを契機に村に戻りたい 5人
- ③ 仕事をするときは村外に住んで、退職後や老後は村に戻りたい... 7人
- ④ 村外に住みたい 4人
- ⑤ 分からない 1人
- ⑥ 無回答 4人



Q2

将来、どのような村に住みたいですか？

(複数選択可)

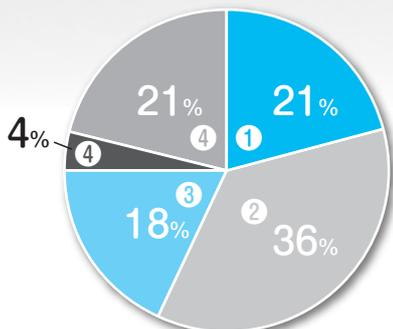
- ① 子育てしやすい村 12人
- ② 買い物の便が良く、生活しやすい村 12人
- ③ 災害や犯罪が少なく安全・安心な村 8人
- ④ 道路や公共交通などが充実し、交通が便利な村 5人
- ⑤ 身近な自然や環境に配慮した村 5人
- ⑥ 人情味や地域の連帯感がある村 8人
- ⑦ 産業が盛んで、働く場所が充実している村 4人
- ⑧ 教育・文化・スポーツ環境が整っている村 4人
- ⑨ 医療・福祉が充実して安心して暮らせる村 6人
- ⑩ 若者向け住宅が整備された村 8人
- ⑪ その他 1人
- ⑫ 無回答 10人



Q3

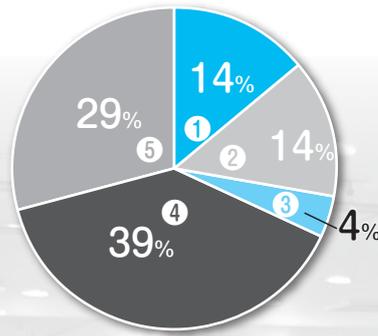
村づくりに興味・関心がありますか？

- ① 大いにある 6人
- ② 少しはある 10人
- ③ あまりない 5人
- ④ 全くない 1人
- ⑤ 無回答 6人



Q4 「ひだか議会だより」を読んだことがありますか？

- ① 時々読んでいる 4人
- ② 一度は読んだことがある 4人
- ③ 知っているが読んだことはない 1人
- ④ 議会だよりのことを知らない 10人
- ⑤ 無回答 8人



Q5 議会に期待することや、やってほしいことは何ですか？ (複数選択可)

- ① 行政に対するチェック機能の強化 5人
- ② 政策や制度など村づくりに関する提案 8人
- ③ 広報誌、ホームページ、インターネット中継、SNS等、情報提供の充実 8人
- ④ 村民の声を反映するための意見交換会、懇談会、意向調査等の実施 7人
- ⑤ 議員数、議員報酬などの検討 3人
- ⑥ その他 2人
- ⑦ 無回答 6人

その他

人間性、消費税5%、ガソリン税をなくす



Q6 日高村って、どんなイメージ？

- 最高
- 高知市から意外と近い村
- 子どもがわんぱく
- 自然が豊か
- キレイ
- 明るくて開放的な村！
- トマト、オムライスがおいしい
- 元気
- 熱がある人がいっぱい
- あったけえ
- おいしいものが多い
- トマトのイメージ
- すごしやすい



二十歳の集いの出席者29人中28人にアンケートに答えてもらいました。

アンケートの結果、将来日高村に「ずっと住みたい・戻りたい」を選んだ成人者が多く、とてもうれしく思うと同時に、大好きな日高村で安全・安心して暮らしていける村づくりと一緒に取り組んでいただきたいと思えます。

また、議会に期待をする回答を踏まえ、議会の活性化を図り、開かれた議会を目指し、まずは手に取ってもらえる議会だより編集に工夫を凝らしたいと思えます。

議会に関心を持ってもらえるよう、住民と寄り添いながら、ご意見等をいただき、住民の声を村政に届けるため、身近な議会の実現を図っていききたいと思えます。

成人された皆さんの新しい一歩にエールを送ります。

うございます

日下小学校

佐田 澄風さん

「勉強とスポーツをがんばります」

佐田 健一さん

沙甫さん

「保育園と違う集団生活の中で協調性を学んでほしい」

写真 左は兄の樹紀さん (5年生)



寺尾 佳子さん

「一輪車に乗ることと勉強をがんばります」

寺尾 隆太さん

佳奈さん

「友だちをいっぱい作ってがんばれ」



能津小学校

中野 翼さん

「勉強をがんばりたい！」

中野 泰誉さん

ちあきさん

「元気でけがなく生活してほしい」



青柳 ふみさん

「やさしい1年生になりました」

青柳 正純さん

知穂さん

「みんなと仲良くし、元気に楽しく勉強をしてほしい」



特集

ご入学おめでとう

加茂小学校

峯川 葵衣あおいさん
 「体育が好きです。算数もがんばります」

峯川 由生さん
 「楽しい学校生活を送ってほしいと思います」



岡林 陽ようさん
 「宿題をいっぱいいして、勉強をがんばります」

岡林 遼りょうさん
 「楽しいことも、しんどいことも、いろいろ経験して6年間を過ごしてほしい」



日高中学校

壬生 ユナゆなさん
 「バレーボールをがんばりたいです」

壬生 周吾しゅうごさん
 由佳ゆかさん
 「緊張しにくい性格を生かし、人前でも自信をもって表現できるよう成長してほしい」



正岡 倫りんさん

「中学校で頑張りたいことはみんなと仲良くなることと勉強・部活です。特に陸上部でいい成績が残せるように練習を頑張りたいです」

正岡 彰子あきこさん
 「勉強と部活の両立と挨拶のできる子に育ってほしい。友達や先生など新しい出会いを大切に楽しい中学校生活を送ってください」



加茂中学校

高野 水音みづね織おりさん
 「中学校には部活があるので、卓球部に入って頑張ります」

高野 雄司ゆうじさん
 「すくすくと病気とかなく、みんなと仲良く成長してほしいと思います」



特集 ご入学おめでとうございます

編集後記

令和7年第1回定例会が閉会した。

3月議会では、毎年新年度案が提案されるが、昨年選出された松岡村長にとって、初めての新年度予算の提案となり、活発な質疑が行われた。

特に一般会計予算では、従来の事業に加え、新たに改良住宅建替事業や人口減少対策事業、地域交通整備事業、地域脱炭素移行事業など、新たな事業が多く盛り込まれており、村民各位には、これらの事業の進捗にも注目していただきたい。

議会だよりの前号で、日下川流域が特定都市河川流域に指定されたことをお知らせしたが、これにより日高村の治水対策が加速される一方、宅地開発等への規制も強化された。

このため、村の土地利用の進め方を明らかにするために、新たに「流域治水まちづくり計画」を策定することになった。村民の意見を反映した計画にしていきたい。

(森下雅文)



新日下川放水路完成1周年を記念しイベントを開催

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は6月6日(金)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 池田 雄

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。